

平成29年度「市長のまちづくりふれあいトーク」
でいただいたご意見等の対応状況について

【H29.10.24 藪田地区】

No.	地区	項目	質問の内容	対応状況	30年度担当部署
1	藪田	排水路	(泊地区) 「浜谷宅裏の排水処理対策」について 新築時には想定していなかった問題であり、排水路の設置など、行政からの支援をお願いいたします。	新築時と上流側の利用形態が変わっており、排水系統を見直す必要があると思われます。末端処理は、市での対応が可能かと思いますが、排水路は民地の中を通す形がよいと思われ、民地内の話になりますと、地元で話をまとめていただかなくてはなりません。 その上で、水路整備地域支援事業(ふるさと整備課)や地域活力施設整備支援事業(地域振興課)の検討をお願いします。	ふるさと整備課 治水治山担当 30-7071
2	藪田	イノシシ被害対策	作物被害は減っているが、近頃人家の近くにイノシシが出没していることが多い。人間への被害が心配で、子どもが噛まれたり、突進されたりということも考えられる。イノシシが人家に入らないようにするためにはどうしたらいいか。抜本的に減らす方法はないのか。猟師に撃ってもらったり、イノシシが山から出てこないよう柵も必要で、その際には助成もしてほしい。形に見えるようなことをしてほしい。	野生動物による被害を減らす方法としては、野生動物を農地や集落の周辺に寄せつけないよう、身を隠せる藪の刈払いなど、集落環境の管理を地域ぐるみで取り組むことが重要であります。 また、電気柵などの侵入防止柵を適正に設置・管理し、農作物を守ることで、農作物を野生動物に与えないことです。集落環境の管理や侵入防止柵の設置に対し、助成をしておりますので、農林畜産課に相談してください。	農林畜産課 いのしし等対策担当 30-7088
3	藪田	固定資産税	何十年か前に土地を市へ提供し、市道を整備してもらった。固定資産税がかからないようにしてもらえないか。	土地の固定資産税につきましては、その筆が公衆用道路の場合、非課税となりますが、今回の件の場合、まずは市道を管理する道路課と当該土地を今後どうするか協議していただく必要があると考えます。 土地を提供していただいた方々と地元自治会との年貢の根拠等約束事の資料の提出(位置がわかる図面等算出根拠)をお願いします。	道路課 道路整備担当 74-8074 税務課 資産税担当 74-8045
4	藪田	防災ラジオ	(小杉地区) 防災ラジオの台数を拡充するという話があったが、近くにキー局がなく、また谷が分かれており、海岸沿いの家しか防災ラジオの電波が受信できない。防災ラジオの台数の拡充より、受信のためのキー局を設置してほしい。	小杉地区におけるキー局の設置は技術的に困難であるため、今後別の対応について検討してまいります。	地域防災課 74-8021

No.	地区	項目	質問の内容	対応状況	30年度担当部署
5	蕨田	急傾斜地	(小杉地区) 小杉地区は約70軒あるが、急傾斜内の雑木の伐採、道路の舗装、街灯の整備など数年で200万円ほど自治会で負担してきた。そのうち市でやっていただいたのは、30万円ほど。万雑ではまかないきれない。担当課の方に見ていただき、優先順位の高いものを市でやってほしい。また、やり方も検討していただけたら。	小杉地区については、平成31年度より急傾斜地崩壊防止対策事業を実施予定です。	ふるさと整備課 治水治山担当 30-7071
6	蕨田	災害復旧	八幡トンネルの土砂崩れの改修が31年度となっている。何年も言っており、30年の予定だったが31年となっているが、なぜ延ばすのか？その理由は何か？延期するならば、区長をはじめ住民へ説明すべきではないか。説明が不十分。通行止めになることに対しても何の説明もなく、今日から通行止めと看板が立っただけ。できない場合については除雪をしっかりとってほしい。	市道阿尾蕨田線の土砂崩れの対策工事については、平成30年度に実施予定となりました。7月から測量設計を行い、10月頃から対策工事に着手したいと考えております。	道路課 道路維持担当 30-7070
7	蕨田	創業支援	市としてどのような創業支援を行っているのか。	氷見市創業支援事業計画に基づき、商工会議所が行う創業支援事業に対して補助しています。この事業では、創業相談窓口の開設や創業塾などにより創業者支援に取り組んでいます。また、創業者に対する補助制度を設け創業支援しています。(上限150万円)	商工観光課 商工企業誘致担当 74-8105
8	蕨田	がん検診	がんによる死亡率が高いという話だったが、氷見市は検診の受診率も低い。受診率を底上げする対策は何かしているか？大企業ではなく、中小企業が多いため、会社を休んでまで・・・という意識なのかもしれない。企業へ働きかけ、事業主から検診に行くよう言ってもらえるようにするなど、受診するための呼びかけをもっと行ってほしい。	市では、職場等でがん検診を受ける機会のない人を対象に胃、肺、大腸、子宮、乳、前立腺がんの検診を実施しています。土日にも住民健診を実施し利便性を図っており、商工会議所の広報紙でがん検診について広報もしております。 事業主から受診を勧めただけのよう、職域と連携してがん検診の受診率向上を図っていきます。	健康課 成人保健担当 74-8414
9	蕨田	ふれあいトーク	約束した事は確実に実行してください。	事業の推進にあたっては、限られた予算の中で、優先順位を付けて取り組んでいます。ご理解いただきますようお願いいたします。	地域振興課 地域協働担当 74-8013

No.	地区	項目	質問の内容	対応状況	30年度担当部署
10	藪田	ふれあいトーク	前市長の場合はふれあいトークの為のふれあいトークに終わり、その後のフォローがなされなかった。是非今回の問題を担当まで下ろして、きめ細かいフォローをお願いしたい。	いただきました要望やご意見は、担当課へ伝え、それぞれ対応を検討しております。今後もしっかり対応できるようにしてまいります。	地域振興課 地域協働担当 74-8013
11	藪田	道路改修	「国道160号(藪田児童公園～脇方橋間)の改修」 藪田トンネル内の拡幅、急カーブ個所の解消・見通しの確保、自転車・歩行者道の整備、毎年繰り返す雨量規制や崖の崩落などによる通行止め問題の解消等、地区住民の生活に密着した道路として、安全性と利便性、快適性の確保、更には、災害など緊急時対応などがしっかりと実現されるよう根本的な対策をお願いするものです。	国道160号の整備につきましては、昨年度も地元の方々に富山河川国道事務所へ要望いただき、ありがとうございました。市といたしましても、富山河川国道事務所や北陸地方整備局に要望しています。 現在施工中の泊地区自転車歩行者道の整備促進のほか、連続雨量による通行規制の解除・緩和につながる防災事業の推進について、今後も引き続き国土交通省に要望してまいります。	ふるさと整備課 事業調整用地担当 74-8091 道路課 道路整備担当 74-8074
12	藪田	急傾斜地	「急傾斜擁壁部の破損個所の補修工事の実施」 氷見土木事務所、氷見市など災害や事故等が発生する前に、要望事項の対応、実施をお願いいたします。	一部の箇所については、県で補修を行い完了しています。今年度から来年度にかけて、県で急傾斜施設の点検を行ない、施設の健全度を調査します。調査の結果を踏まえ、整備計画を作成して、優先度の高い箇所から計画的に補修工事を行うと聞いています。	ふるさと整備課 治水治山担当 30-7071
13	藪田	防災資機材保管庫	「平成30年度コミュニティ助成事業申請への支援」 防災資機材保管庫に関する平成30年度コミュニティ助成事業の採択に向けて、市当局からの更なる支援、バックアップをしていただきますようお願いいたします。	昨年度も平成29年度事業分として要望しましたが、交付の決定が受けられなかったため、再度、平成30年度事業として助成団体である一般財団法人自治総合センターへ申請を行いました。	地域防災課 74-8021

No.	地区	項目	質問の内容	対応状況	30年度担当部署
14	藪田	イノシシ被害対策	「有害鳥獣捕獲依頼事業への対応」 イノシシ被害対策として「捕獲を目的とした檻の導入」に当たり、前年度に引き続き、市当局のご支援をよろしくお願いいたします。なお、餌付けなど捕獲に必要なことについては地区として協力いたします。	平成29年度のイノシシの捕獲は、平成28年度を上回り1100頭を超えておりますが、減少する様子が見られず、全国的にみても捕獲対策だけでは被害を減少させることはできていません。このことから、イノシシを集落に近づけない次の取り組みをお願いしています。 (1) 野生動物の餌となる放任果樹などの伐採や全量収穫管理、身を隠せる藪の刈払いをする。 (2) 電気柵などの侵入防止柵を適正に設置して管理し、野性動物に農作物を与えない。 捕獲檻については、各地区から要望が多く、今年度の新設は困難な状況であり、地区の捕獲状況も参考にして次年度に必要な捕獲檻の設置数を検討してまいります。	農林畜産課 いのしし等対策担当 30-7088
15	藪田	道路整備	(泊地区) 「瀬間田地内市道バイパスの早期実現」 建設課(道路課)との話し合いの中では、瀬間田地内市道の拡幅、急カーブ箇所の改修は現時点では実現が困難なことから、バイパスを新設していただき、利便性に富む市道へと改善していただくことを強く要望いたします。 バイパスの新設に当たり、地権者の同意を得ています。早期の実現に向けての対応、支援をお願いいたします。	緊急車両等の進入には、まずは入り口の国道160号からの拡幅改良が必要と判断しており、引き続き、皆様とともにご要望について、検討していきたいと考えています。	ふるさと整備課 事業調整用地担当 74-8091 道路課 道路整備担当 74-8071
16	藪田	防災対策	(泊地区) 「津波避難経路の新設、整備」 他地区でも同じような問題がある個所があるかと思いますが、県や国とも連携して、地区内での津波避難経路の新設、整備をお願いいたします。	富山県が2月に公表しました津波シミュレーション調査結果を踏まえ、津波退避経路の確保が必要となる場所が確認された場合には、関係部署と調整し、今後の対策について検討していきます。	地域防災課 74-8021

No.	地区	項目	質問の内容	対応状況	30年度担当部署
17	藪田	非課税措置	<p>(泊地区) 「市道円山線及び防火用水地の土地所有者への非課税処置」 1) 市道円山線については公衆用道路になって久しく、早急に地権者に対して、非課税化の処置を取って頂きますよう要望します。北泊の防火用水地の土地についても、同様の対応をお願いいたします。さらには、出来るものなら、土地の提供をして頂いた昭和55年に遡って税の返還をお願いいたします。 2) また、地区内に、類似のケースで納税の対象になっている個所が無いかについても併せて、調査をお願いいたします。</p>	<p>市道円山線拡幅道路敷地や、防火水槽となった土地の非課税措置のご要望につきましては、まずは土地を提供された当時、土地を提供していただいた方々と自治会とのお約束の内容について、年貢の支払い根拠や面積、図面等による算定根拠をご提示していただくことが必要となります。 適用については、市のこれまでの取り扱いと同様に、いただいた根拠を踏まえて、協議の中で判断させていただくこととなります。</p>	<p>道路課 道路維持担当 30-7070</p>
18	藪田	漁港敷地使用料	<p>(泊地区) 1) 地区内のコミュニティーセンターに関してですが、建設以来、「漁港敷地使用料」として約3.3万円／年を市に支払っております。既に累計で約80万円となっております。 2) 地区の状況について述べますと、今年度までに、コミュニティーセンター維持管理費として、既に約1,000万円もの費用(内訳:約25万円／年の経費、平成19年の能登地震による損害対応、塩害対応、など)を費やしています。更に、高齢化と空き家の進行などにより、「漁港敷地使用料」を今後とも継続して支払っていくことが大きな負担になってくることから、「漁港敷地使用料」の支払い免除を要望いたします。</p>	<p>漁港敷地使用料の支払免除につきましては、対象となる区画が海岸保全区域であることから、氷見市海岸保全区域占用料条例で定められていますとおり、占用料をご負担願いたいと存じます。 漁業者の皆様にも、倉庫等を設置する場合は占用料をご負担いただいております。受益者負担の原則から、貴会だけ占用料を免除することには難しいものがございます。 なお、同条例第4条に占用料減免の定めがありますが、現状ではこの条件に合致しているとは言えない状況と考えています。</p>	<p>水産振興課 水産業振興担当 74-8102</p>

No.	地区	項目	質問の内容	対応状況	30年度担当部署
19	藪田	補助金	<p>(泊地区) 「支援事業における補助金の見直しへの対応」 1) 泊地区の予算配分でウエイトが高いのは「土木費」に分類されている費用です。市道への崖崩れ、市道への雑木の被さり、豪雨時の雨水の溢れ出し(こういった問題は中山地区固有の問題であって、市街地地区ではない問題です)、など、地元では手を付けられず、繰り返し発生している問題があります。改修や補修に当たっては、市の補助金も出ますが、補助金には限度があり、費用項目によっては対象にならないなど、どうしても地元で負担せざるを得なくなり、必然的に負荷が大きくなっています。</p> <p>2) 具体的には、「道路整備地域支援事業」、「水路整備地域支援事業」です。道路や水路の維持の為、或いは、住民からの要望事項が多くあり、自治会として対応せざるを得ません。</p> <p>3) 市当局に於いては、地区に密着し、地区の課題に即応できる施策を講じて頂きたい。費用項目の見直し、補助金限度の見直し、などをお願いいたします。</p>	<p>(道路課) 「道路整備地域支援事業」、「水路整備地域支援事業」については、地域が自主的・主体的に実施する事業に対して支援するものであり、現時点では見直す予定はありません。</p> <p>(地域振興課) 自治会が地域内の道路、河川、水路、公園、広場、交通安全施設及び土地改良施設などの公共的な施設等の新設、改良及び修繕を計画的に実施する事業について、市が財政的・技術的支援を行う「地域活力施設整備支援事業」を創設しておりますので、ご活用いただければと思います。(5月の自治振興委員会議で案内済み)</p>	<p>道路課 道路維持担当 30-7070</p> <p>地域協働課 地域協働担当 74-8013</p>
20	藪田	橋梁	<p>(藪田自治会) 「垂姫橋の利用について」 垂姫橋の架け替えが必要ないと判断するならば、市としての安全性の確認と証明(耐震・耐久性に問題がなく通行可能)をお願いしたい。垂姫橋は地区の重要な通行箇所であり、安心して地区住民が利用できるよう具体的な対策をお願いします。</p>	<p>現在、橋りょうの点検中です。調査が完了しましたら、結果について報告します。</p>	<p>道路課 道路維持担当 30-7070</p>

No.	地区	項目	質問の内容	対応状況	30年度担当部署
21	藪田	イノシシ被害対策	<p>(藪田地区) 「イノシシ対策について」 住民が安心して生活できるようにしていただきたい。 例:イノシシが住民の生活エリアに入らない対策 例:イノシシを減らす対策(捕獲檻の設置等)</p>	<p>イノシシの活動の大半は餌を求めての行動といわれおり、集落周辺に野生動物の餌となる柿や栗などの放任果樹や二番穂があると出没しやすくなります。そのため、餌となるものの除去や、電気柵等により農作物を守り、集落周辺が野生動物の餌場にならないようにお願いします。</p> <p>また、イノシシが安心して身を隠せる藪の刈払いなどを地域ぐるみで取り組みいただくようお願いいたします。集落周辺でイノシシを見かけて逃げない場合は、バケツをたたいて大きな音を出すなどをして追い払ってください。</p> <p>捕獲檻については、各地区から要望が多く、今年度の新設は困難な状況であり、地区の捕獲状況も参考にして次年度に必要な捕獲檻の設置数を検討してまいります。</p>	<p>農林畜産課 いのしし等対策 担当 30-7088</p>
22	藪田	河川改修	<p>(藪田地区) 「垂姫川の補修について」 垂姫川2ヵ所の崩落個所の早期復旧</p>	<p>平成30年度予算で補修します。</p>	<p>ふるさと整備課 治水治山担当 30-7071</p>

No.	地区	項目	質問の内容	対応状況	30年度担当部署
23	藪田	急傾斜地	<p>(小杉地区) 「急傾斜地崩壊対策関連事業について」 1 市道を挟む住宅地向側の崖斜面が少しずつ崩れています。以前にも落石があり道路まで出たこともあり、近隣住民は道路や住宅への落石被害を心配しています。しかし、道路を挟んでいるためか、急傾斜地としての危険エリアになっていないためこのまま対策が行われず取り残されると危惧しています。 2 急傾斜地崩壊対策工事が終わった箇所については、施工から35年以上が経過し、重力式擁壁にも大きなクラックが生じ土砂の崩落を食い止めることが出来るのか心配な状況です。 また、地震によって発生する土砂崩れによっては擁壁自体が倒壊する可能性も危惧されます。 3 施工済み区域内に雑木が茂り、非常に大きくなってる場所があり、直下の家では、台風の日など雑木が倒木、転落してくるのではないかと不安に思っています。</p>	<p>1 平成30年度に急傾斜地崩壊危険区域の指定を県へ申請するための詳細調査を行う予算を措置し、申請を行なう予定としています。急傾斜地崩壊危険区域の指定を受けましたら、県の補助を受けながら計画的に対策工事を進めていきたいと考えています。 2、3 県でも、状況は把握されており、県では今年度から来年度にかけて急傾斜施設の点検を行ない、施設の健全度を調査することとしています。その調査の結果を踏まえ、整備計画を作成して、優先度の高い箇所から計画的に対応していくとのことです。市でも引き続き要望をしていきます。</p>	<p>ふるさと整備課 治水治山担当 30-7071</p>

No.	地区	項目	質問の内容	対応状況	30年度担当部署
24	藪田	道路改修	<p>(小杉地区) 「道路の改修について」 1 舗装補修(剥離、亀裂、傾斜等)について 舗装面に剥離や亀裂が生じ、そこから穴が広がっています。また市道藪の腰線の、大石宗雄宅裏側(L=12m.W=2.4m)は重なる舗装補修で路面が片側に極端に傾斜が強く(道路側溝に向かって、50cmで10cm下がっている)、降雪時には側溝側の雪が溶け易いことから、更に傾斜が強くなり、道路の勾配とあいまって車が側溝へ落ちる事故が多発しています。 路面の補修と併せて道路側溝の整備をすることで、道路の有効幅員も広がるため、両面での改修をお願いいたします。 2 迂回路の整備(舗装)について 地域内の道路が狭いため、緊急車両が集落の奥まで入ることが出来ず、救急時は担架等で急病人の搬送をしており、火災発生時の消火活動も同様の事態が発生する心配をしています。 当地区は3つの小さい谷で分断されていますが、集落奥側を繋ぐ市道があります。現在は未舗装で轍も深くなり軽トラックでの通行も難しい状況となっています。さらにはイノシシが路肩や側溝を掘り返し、敷設されたベンチフリュームやヒューム管までを掘り起し、全く機能していません。この道路の整備をお願いいたします。</p>	<p>1 舗装につきましては、現地を確認して危険な箇所があれば補修を実施してまいります。側溝の整備については、地区の方と整備の方法を相談したいと考えています。 2 未舗装道路の整備については、原材料(生コン・簡易舗装)支給や道路整備地域支援事業、地域活力施設整備支援事業等を活用した整備についてもご検討ください。</p>	<p>道路課 道路維持担当 30-7070</p>

No.	地区	項目	質問の内容	対応状況	30年度担当部署
25	藪田	防災対策	<p>(小杉地区) 「地域防災について」 当地区は、海に面しており避難所である自治会館は津波被害時は真っ先に被災してしまいます。住民は津波発生時に集落後方の山地に避難することになりますが、経路の市道には外灯もありません。 また、先にお願ひした迂回路は避難道路でもありますが未舗装の状況です。津波発生時の避難対策として避難路の整備と避難後に必要となる資機材の保管庫等の整備について御検討をお願いいたします。</p>	<p>富山県が2月に公表しました津波シミュレーション調査結果を踏まえ、津波退避経路の確保が必要となる場所が確認された場合には関係部署と調整し、今後の対策について検討していきます。</p>	<p>地域防災課 74-8021</p>
26	藪田	防火水槽	<p>(小杉地区) 「防火水槽(自然水利用)の改修について」 廣瀬達夫宅奥側にある、消火用の自然水を貯水するため、山の斜面下にある溜め池を防火水槽として地元消防団が管理し、定期的に清掃及び放出試験を行っています。しかし、今年になり、水が放出できなくなり、放出管の劣化等による潰れ等が原因ではないかと考え、憂慮しています。 また、溜め池本体を包む岩盤の一部が崩落し、穴が開いています。水深は1m40cmもあり、崩壊すれば大量の水が市道を経て下流の住宅地に流れ出すことや人の転落も心配されます。</p>	<p>現状では水利台帳には上がっておらず、また消防水利に指定するのも難しい状況です。 ただし、地区で管理している消防水利の改修については、地域活力施設整備支援事業の活用をご検討いただければと思います。この事業の活用に関して不明な点があれば、地域振興課にご相談ください。</p>	<p>地域振興課 地域協働担当 74-8013 消防総務課 30-7112</p>